

(5)高度先進検査室

概要

ナショナルセンターにふさわしい先進的な成育医療を臨床検査の面から推進するために、高度先進検査室が計画されている。検査室の運用を可能にするような準備は開院時までにはほとんど着手されていなかったが、14年6月に奥山虎之遺伝診療科医長が高度先進検査室医長に就任(併任)し、本年度は、同医長を中心として次年度以降の事業計画および検査に必要な機器の整備計画の立案を行った。

事業計画

はじめに、当面取り組むべき事業として以下の3項目を取り上げた。

- 1) 先天異常症の遺伝子染色体検査
- 2) 小児悪性腫瘍に対する遺伝学的生化学的検査
- 3) 不妊治療に伴う先進的検査

上記の課題別にワーキンググループを設立し、実施すべき検査項目の選定および実施に必要な基盤整備について検討を加えた。

検査機器の整備

前述の事業計画の基盤となる機器整備計画を進め、以下に示す機器の購入が承認された。

DNA塩基配列決定装置、定量的PCR解析装置、染色体解析装置、フローサイトメーター、マイクロダイゼクション装置

これらの計画に従い、平成15年度のはじめに機器整備を行い、平成15年度内の本格的な運用開始を目指している。

(高度先進検査室長 奥山虎之)